

# いつかいち福寿苑だより

社会福祉法人かきつばた福祉会  
特別養護老人ホームいつかいち福寿苑  
施設長 清水 祐己

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

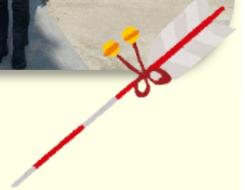
昨年中は当施設に対しまして、ご利用者様、ご家族様からの温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年末より当施設で発生しました新型コロナウイルス感染症クラスターにつきまして、皆様には大変ご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。

令和5年1月11日にクラスター認定解除の運びとなり、ご利用者皆様様が回復されましたこと、職員一同ひと安心しております。

翌1月12日には、施設隣にある観音神社で安全祈願を執り行っていたいただきました。私共の願いは「ご利用者様の安心な暮らしを守る」ということです。引き続き、ご利用者様お一人おひとりと信頼関係の構築に努めていく所存でございます。

今後も皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



お祝い膳



地域交流スペース入口

## お正月



今年、百寿を迎えられます!!



羽子つき大会



## 12/7 「カフェふくじゅ」 Open



12/7に「カフェふくじゅ」を当苑地域交流スペースにて開き、近隣住民の方々にお越しいただきました。「認知症カフェ」について、福本副施設長よりご紹介させていただきます。

認知症カフェとは、認知症の方やそのご家族、地域住民、介護職員など誰もが集える場所です。気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場として全国各地で運営されています。オレンジカフェなど別の名称で呼ばれることもあります。

認知症の方やそのご家族が、地域住民や認知症の専門家らとの交流を通じて、情報共有や相互理解を深めるための場として、介護をするご家族の支援、初期の認知症の方の支援の場としてもご利用いただけます。

「カフェふくじゅ」の初回は、脱水症状についての講演やクリスマスリース作りでした。

認知症や家族介護のお悩みや情報交換、気分転換の機会、専門家による講演や、ものづくり等を開催し「参加して楽しかった」、「気持ちが楽になった」と言っていたり、地域の方々と共に作り、認知症を正しく理解し受け入れて、認知症カフェが浸透し「認知症になっても安心して暮らせる地域」を目指していきたいと思えます。



## めだかのお引越し

4F 庭園に在住していためだか達が、寒さ対策の為、2F・3F のパブリックスペースにお引越ししました。



3F



2F



## 12月の行事食



12月のテーマは「戦国武将物語～食で伝える武士の念い～石川の陣 前田利家」と題し、前田利家と所縁のある石川県のご当地メニューでした。

お品書き  
かにご飯  
きば大根  
茄子のオランダ煮  
恵比寿寒天  
めった汁

